



なぞって練習

もう過去へ葬ってしま  
つたかもしれないが、  
強い態度を取り続け  
られるために、負け  
たくないと反抗心が  
起さるのであるとこん  
なふうにも思われて、  
その人を忘れていた時  
は少ないのである。こ  
れまでは空蝉階級の  
女が源氏の心を引くよ  
うなこともなかったが、  
あの雨夜の品定めを聞  
いて以来好奇心はあら  
ゆるものに動いて行つた。

■ 参考

※空蝉【うつせみ】

(青空文庫のフリガナより)